



かわいっ子

河合小だより

令和2年6月

【学校教育目標】「他者と共創し、主体的に学ぶ児童生徒の育成」

文責：学校長

「ありがとう」（感謝）の気持ちを大切にする

吉 岡 優

6月1日、私たちが待ちに待った学校再開です。3月12日以来、3か月弱。長い道のりでした。しかしながら、決して気を緩めてはいけません。学校としては「3密回避」「衛生管理」を徹底しながら、子供の学びを保障し、教育活動を進めていく所存です。

さて、ドイツではコロナウイルス対策としてさまざまな個人の行動を大幅に制限する厳しい措置（いわゆるロックダウン）が取られることになったため、2020年3月18日メルケル首相は「コロナ禍は、全世界にとって第2次世界大戦以来の試練」と位置づけ、国民に理解と協力を求める演説をしました。



メルケル独首相

その中で、「この戦いの最前線に立つ介護従事者や医療関係者の方は、毎日改めて仕事に向かい、人のために尽くしています。あなた方の仕事は偉大です。そのことに私は心から感謝します。」と述べました。感染リスクへの不安と恐怖に立ち向かいながらの献身的な行動・対応など報道等で接する限りでも感謝以外の言葉が見つかりません。

そして、「ここで、普段滅多に感謝されることのない方たちにもお礼を言わせてください。このような状況下で日々スーパーのレジ係の方、商品棚の補充係の方は、現在ある中でも最も困難な仕事のひとつを担っています。同じ国に住む皆様のために尽力し、言葉どおりの意味でお店の営業を維持してくださりありがとうございます。」と。非常時においてもそれぞれの役割を地道に果たされている方へ、心から「ありがとう」を伝えました。

感謝といえば日本でもごみを収集される方への感謝の手紙、明石の銭湯では花が添えられた感謝の言葉があったと報道されていました。その他にもバスや電車の運転手さん、宅配の方、保育所の先生、学童の方…、そして、休校措置でお世話になった保護者や祖父母の方…、数え上げればきりがありません。社会インフラの維持はこうした皆さんに支えられているといっても過言ではありません。学校が再開されることと周りの人々の尽力すべてに、私たちは感謝の気持ちをもって日々過ごしていきたいものです。

河合小に戻ったみんなの笑顔



しっかり並んでみんなで登校

新型コロナ対策の休業要請の緩和措置により、登校可能日が設定され、5月19日より分散登校ですが、河合小学校にやっと子どもたちの笑顔が戻って来ました。隔日ですが、Aグループ95名、Bグループ88名が笑顔で登校です。もちろん受け入れ登校の児童も毎日笑顔で登校しています。

久しぶりの再会に子どもたちは「学校が始まってうれしい。でも、あと半分の友だちと会えないのでさびしい。」と笑顔で答えながら、自宅待機中に取り組んだ課題を提出したり、教室で授業を受けたりと本年度の学校生活を<再始動>させました。



やっと出会えた友と学ぶ姿

多くの地域の方からの温かいプレゼント

「先生、マスクが手に入ったので、子どもたちに配ってあげて。」「会社で、マスクの在庫があるので、学校で使って。」と、マスク不足の折、校区の方（保護者様）から、とてもありがたい申し出があり、遠慮なく頂きました。その他にも、国からガーゼ製の布マスク、小野市からサージカルマスク、そして小野市在住の方（匿名希望）からの手作りのかわいい布製マスクが子どもたちに寄贈されました。すでに配布済みのものもありますが、学校再開後配布する予定のものもあります。また、ご確認ください。

さて、6月からの本格的な学校再開に向け、先生たちは、子どもたちの登校を心待ちにしながら、学習・生活の準備、マスクの仕分けなど一生懸命取り組みました。学校としては、もらったプレゼント以上に子どもたちが成長することが、何よりの恩返しと考えています。この笑顔の戻った学校がこのまま順調に進むことを願ってやみません。



マスクの仕分け作業の様子

6月の主な行事予定

1日（月）学校再開	15日（月）安全点検
5日（金）委員会、学校評議員会	19日（金）全校朝会
12日（金）クラブ活動	23日（火）代表委員会

※6月に予定していたオープンスクール（6/5・金）はコロナ対策のため、中止です。
※例年、6月から実施する水泳学習は感染防止対策を踏まえ、有無について検討中です。
※おの検定（1学期実施分）は学習の進度を考慮し、2学期以降実施予定です。